

プロロジス、スタートトゥデイと賃貸契約を締結し
専用物流施設「プロロジスパークつくば 1-B」を開発
～2棟合計14万㎡、プロロジスの専用物流(BTS型)施設として最大規模～



左:開発中の「プロロジスパークつくば 1-A」完成イメージ

右:このたび契約を締結した「プロロジスパークつくば 1-B」完成イメージ

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役社長:山田御酒)は、このたび、アパレル EC 大手の株式会社スタートトゥデイ(本社:千葉県千葉市美浜区、代表取締役社長:前澤友作)とあらたに約 66,000 ㎡の賃貸契約を締結し、スタートトゥデイ専用物流施設「プロロジスパークつくば 1-B」として開発着手することを発表しました。

「プロロジスパークつくば」は、約 65,600 ㎡の土地に、特定企業の専用物流(BTS型)施設 2 棟からなる物流施設の集積地として、プロロジスが開発を計画していました。敷地内における第 1 棟目は、本年 8 月にスタートトゥデイの専用物流施設として起工しています。このたびの契約締結により、2 棟目もスタートトゥデイの専用物流施設として開発が決定。これにより 1 棟目の名称を「プロロジスパークつくば 1-A」、2 棟目を「プロロジスパークつくば 1-B」とします。

スタートトゥデイは、幹線道路へのアクセスや雇用確保に有利な立地、プロロジスの施設仕様や入居後の運営管理の実績などを評価し、このたびの契約に至りました。同社は、アパレル商品の全国配送のための最大拠点として「プロロジスパーク習志野 4」一棟すべてを利用するほか、「プロロジスパーク千葉ニュータウン」などに入居するリピートカスタマーです。「プロロジスパークつくば 1-A, 1-B」は、保管と入出荷機能を備えた物流施設として利用する予定で、「プロロジスパーク習志野 4」に次ぐ基幹拠点となります。

「プロロジスパークつくば 1-A, 1-B」の総延床面積では約 14 万㎡となり、プロロジスの開発実績としても

BTS 型施設としては最大規模となります。

■ 開発地

「プロロジスパークつくば 1-B」は、圏央道「つくば中央」IC から約 5 km の地点に開発されます。北関東方面への配送に加えて、常磐道「谷田部」IC から約 10 km に立地するため、都心方面および仙台方面へのアクセス利便性も高い立地です。本年 2 月には、圏央道「境古河」IC～「つくば中央」IC 間が開通し、都心部から放射状にのびる東名・中央・関越・東北・常磐・東関東の 6 つの自動車道が接続されました。これにより、都心部を経由することなく東西広域および東日本全域をカバーすることが可能になり、広域戦略拠点としてのポテンシャルが期待できます。

開発地周辺には住宅地や大学・研究機関が立地し、働く世代の人口が多く、雇用確保にも有利な環境です。また、つくばエクスプレス線「研究学園」駅より約 1.9 km と近く、通勤利便性も高い場所です。

■ 施設計画概要

「プロロジスパークつくば 1-B」は、4 階建て延床面積約 71,000 m² の物流施設として開発されます。1 階および 3 階にトラックバースを設け、スロープで大型車両が 3 階にアクセス可能な設計とします。また、「プロロジスパークつくば 1-A」とは 2 か所の接続ブリッジにより各階を接続することで、2 棟を一体活用した効率的な物流オペレーションが可能となる計画です。敷地内には、従業員の車通勤を想定し、両棟合わせて約 460 台の駐車場を整備します。

快適な作業環境を確保するため、両棟全館に空調を導入し、全館 LED 照明を採用するなど環境負荷軽減にも配慮します。災害時の安全確保と事業継続性にも配慮し、緊急地震速報、非常用発電機、衛星電話の設置、断水対策を実施する計画です。

「プロロジスパークつくば 1-B」計画概要

| | |
|---------|-------------------------|
| 名 称 | プロロジスパークつくば 1-B |
| 開 発 地 | 茨城県つくば市東光台 |
| 敷 地 面 積 | 約 32,800 m ² |
| 計画延床面積 | 約 71,000 m ² |
| 構 造 | 地上 4 階建 |
| 着 工 予 定 | 2018 年 5 月 |
| 竣 工 予 定 | 2019 年 9 月末 |

■ 圏央道マーケットのプロロジスパーク

プロロジスは、圏央道の延伸を見据え、埼玉県にマルチテナント型物流施設の「プロロジスパーク川島」「プロロジスパーク川島 2」「プロロジスパーク北本」「プロロジスパーク吉見」「プロロジスパーク東松山」(2018 年 2 月竣工予定)、BTS 型施設 3 棟からなる茨城県の「プロロジスパーク古河」と、新たな物流適地にいち早く施設を開発してきました。「プロロジスパークつくば」についても、本年 3 月の「境古河」IC～「つくば中央」IC 間の開通に合わせた新たな好適地として開発を計画していたものです。茨城県内では、「プロロジスパーク常総」、「プロロジスーク古河」に次ぐ開発です。

■ プロロジスの専用物流(BTS 型)施設

プロロジスは、これまでに「プロロジスパークつくば 1」を含め、全国に 35 棟の BTS 型施設を開発してきました。また、「プロロジスパーク海老名 2」「プロロジスパーク神戸 3」「プロロジスパーク神戸 4」などの BTS 型施設の開発を計画中であり、入居企業を募集しています。

プロロジスは、今後もお客様の物流効率化のニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室 担当:古川
TEL: 03-6860-9107 / FAX: 03-6860-9020
E-mail: sfurukawa @prologis.co.jp